

PEP 単語カード概要

あの青春を取り戻せ！伝統のツールで語彙増強を

PEP 英語学校 校長 杉森 元

1. コンセプト

英単語暗記ツールとして昔からある「単語カード」には、①コンパクトで持ち運び・取り出しが容易で、スキマ時間の活用に最適、②冊子の形式と違い、カードは分割・再連結が簡単にできるので、覚えたい単語だけを持ち歩ける、③スマホのアプリとは違い、紙のカードなので、取り扱いに気を使う必要がなく（落としたり失くしたりしてもダメージは少ない）気軽に使える、という利点があります。

しかし実は、単語カードで語彙増強に成功する人は意外に少数派です。その理由は、まさに次のキャッチフレーズに現れています。



単語カードを「作って」力尽きた…
そんな青春の苦い思い出はありませんか？



単語カードを自分で作るのは、意外に大変です。まず、①どの単語をカード化するか、のエントリーで悩めます。次に、②その単語の何をカードに書き入れるか（発音記号も書き入れるか、多義語の場合、複数の定義を書き入れるか、例文も書いておくか、語源は…等）、で悩めます。そして最後に、小さなカードに手書きでキレイにレイアウトして項目を書き入れる作業自体が大変です。10枚ぐらい作ると、だいたい嫌になってしまいます。

かりに頑張って作ったとしても、手書きの文字はやはり読みにくく、フラッシュカード（パッと見て認識するもの）としてはイマイチです。特に手書きが苦手な人は、自分の書いた下手な字を毎回見るのが苦痛になり、結局、膨大な時間を使って作ったカードも使わなくなってしまいます。

しかし、単語カードにはやはり先述の捨てがたい利点があります。単語カードの難点は、あらかじめ単語が印刷された既成品のカードがあれば解決できます。ただ、市場にそうした教材はほとんど存在しません（高校・大学受験用の単語カードは一部にあります）。そこで、私はこれを作って大人の学習者の皆様に提供することとしました。

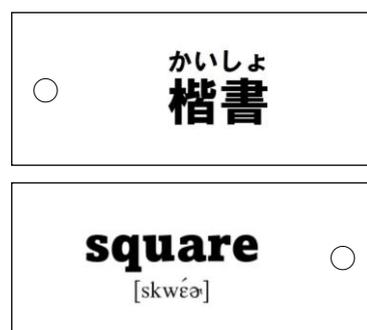
PEP 単語カードには、本体（1,110枚）と Appendix（300枚）があります。前者の PDF データは、[PEP メルマガ](#)（無料）の購読者に無料で公開しています。後者は有料で販売しています。共に[オンラインストア](#)で印刷サービスがあります。

2. 仕様

まずエントリーに関しては、全国通訳案内士試験対策や、通訳一般、日本事象の英語による説明、という観点を重視して私が選びました。また、単語カードによる単純な暗記に適しているのは、「知っているか知らないか、で勝負が決まる名詞である」という考え方から、**他の単語での言い換えが難しい名詞**にエントリーを限定しています。そして、各単語に関する項目については、語学学習における音声重視（実際に口で言うことが記憶のカギ）の立場から、日本語にはルビ、英語には発音記号を付しました。そして、シンプルでわかりやすくするという立場から、英語と日本語の意義は1対1で対応させており、各語のルビ・発音記号以外の項目は一切入れていません。また、単語がパッと一目で認識できるように、フォントは黒々と太くてわかりやすいものを選んでいきます。

紙カードとしての仕様は、市販の印刷用紙(エーワン マルチカード 30面 単語カードサイズ 穴あき 5枚 51163)を準備し、これにPDFで準備したデータを家庭用プリンターで印刷して作るようになっています。カードのサイズは、縦29.7mm、横70mm、厚さ0.23mmです。

本当は、家庭用プリンターで1つずつ印刷するのではなく、印刷工場で大量生産をしたかったのですが、単語カードは、①小さいカードであり、②それぞれのカードの内容が異なる、という特質があるため、大量生産が難しいのです。そこで、データのみを私が準備し、これを各利用者の方が既成の印刷用紙を使ってそれぞれ作っていただく形にしました。ちょっと手間はかかりますが、手書きで作って「力尽きて」いた青春時代のことを思えば、大したことはありません。これで、単語カードのメリットが享受できます。



上：表（日本語） 下：裏（英語）

3. 作り方

(1) 資材の準備

①まず、用紙（エーワン マルチカード 30面 単語カードサイズ 穴あき 5枚 51163）を準備します。アマゾンで手に入ります。[こちら](#)から。本体（1,110枚）を作るには8セット、Appendix（300枚）を作るには2セットが必要です。

②綴じリングも必要です。いろいろなものがありますが、直径2.5～3.0ミリのものを使いやすいようです。アマゾンで手に入ります。[こちら](#)から。

③各社の家庭用インクジェット式プリンターで印刷できます。レーザープリンターは熱のせいで紙がカールしたり、印刷位置がズレたりするので不適です。お勧めのプリンターは[こちら](#)。



